職員ワークショップまとめ

1 目的

これまで松本市の図書館が担ってきた役割や機能を生かしつつ、社会状況の変化や市民ニーズの多様化に合わせた次代に引き継ぐ松本らしい、市民のための図書館のあり方について、職員それぞれが考え、その結果を共有する。

2 概要

実施日 令和元年 12 月 27 日(金) 9:15~11:30

参加人数 全館職員 55 人中 52 人 7 グループに分けて実施

内容(1)誰のため、何のための図書館か

- ・図書館に求められる役割や機能とは
- ・中央館と分館の役割とは
- (2) (1)を具現化するための図書館サービスとは
- (3) (1)を具現化するための図書館の施設整備とは について、図書館を取り巻く社会的動向や日々の業務で感じていること を踏まえて自由に意見を出し合う。

3 結果

各グループ意見数

	1	2	3	4	5	6	7	計
役割	48	44	42	43	50	34	49	310
サービス	44	29	25	29	42	14	33	216
施設	34	28	23	20	25	20	29	179
	126	101	90	92	117	68	111	705

主な意見・アイディアのまとめは別紙のとおり

職員ワークショップ(2019.12.27)

(1) 図書館に求められる役割と機能						
知る・学びを支える	課題解決の支援	交流の場	中央図書館			
地域の知の拠点	課題解決型図書館	子どもと本をつなぐ	基幹図書館			
知の拠点	暮らしの問題を解決	本と人との出会いの場	分館を支える			
地域を支える情報拠点	趣味、興味のあることを深める、楽しむ、学ぶのお手伝い	地域の交流の場	分館網整備 ネットワークを駆使した図書館サービス			
住民の知る自由の保障	暮らしに役立つ 仕事に役立つ	他市、他館との連携・交流	司書の育成(スキルの平準化かつ専門化)			
昔から受け継がれているものを次の世代へとつなぐ場所	レファレンスの充実	生きがいづくり(老若男女)の場	基幹図書館として資料の充実			
多様な蔵書がある場所 120万冊	様々なニーズに対応できる	本を読むだけでなく様々なコミュニケーションの場(拠点)となる場所	全市サービス			
貴重な資料にふれる	情報提供の場(求めに応じた)	人とのつながりを広げる場(講座、ワークショップでもなく)	分館			
専門的分野のもの、勉強できる場所	市民の情報活用能力の向上(情報リテラシー教育)	あたたかみがある交流の場	足を運びやすい身近な図書館			
多くの蔵書で「市民の知りたい」に対応	学習支援	社会から孤立する人の交流の場にする	その地域に密着した身近な存在			
あらゆる手段で情報を得られる場所	役に立つ情報がきちんと提供できる	複合施設との連携による交流	地域のコミュニケーションの拠点			
情報を誰もが共有できる場所	より専門的な知識を提供	知の交流拠点	地域に根ざした活動(講座等)			
個人の知的好奇心を満たす、伸ばす	情報化の推進		地域とのつながり・連携			
利用者の求める情報や資料が提供できる	誰でも みんなの	居場所	近所の窓口としての分館(要望が言いやすい、本を受け取りやすい)			
誰もが利用できる情報の宝庫	すべての年齢層のニーズに対応した図書館	滞在型図書館	地域の特性を活かす分館			
知の交流拠点	言語や身体的に不自由な人にも対応できる図書館	居場所としての図書館(地域の、市民の)	憩いの場			
目指す資料の入手が容易で居心地の良い場所	ユニバーサルデザイン、バリアフリー	いつでも誰でも居心地の良い場所	いつでも気軽に行ける近くの図書館			
資料の収集、保存	入りやすい雰囲気、特に目的がなくてもふらっと立ち寄れる	居心地の良い	地域のコミュニティーの場所			
読みたい本が読める場所	本にあまり興味がない人にもアプローチ(子連れ一親がつまんないなど)	何度でも来たくなる図書館	分館と小学校、公民館との連携			
地域に関する資料の提供	色々な人が使いたい、居たいと思う場所	長く居ても安心していられる	交流、居場所の提供			
あらゆる情報や検索ツール等、幅広く専門的な情報	利用者の視点にたった図書館		蔵書の役割分担			
資料(紙媒体、デジタル媒体等を含む)の提供	フリーな時間ができた時、「あっ、図書館に行きたい」と思ってもらえる		各分館により利用者のカラーが違う(それを活かした分館づくり)			
本・新聞・インターネット・データベース等からの情報で知的活動を支える	地域の方や障がい者でも利用しやすい施設		より地域に密着したサービスの提供			
資料収集(専門的)	子どもから大人まで気軽に		身近で役立つ			
地域大学との連携による資料収集	新たに求められるニーズに対応		それぞれの特色を生かす			
若い人も年を召した方も求めているもの(情報、資料)を提供できる場所	子ども、子ども連れが遠慮せず楽しく我慢せず使える図書館		地区の人と中央を結ぶ			
本との出会いの場	より多くの市民が利用					
生涯学習の場	誰でもいつでも資料を見たり借りたりできる施設					
	無料					
	生活を豊かにする場					

職員ワークショップ(2019.12.27)

(2) 図書館の機能を生かすサービス								
資料の充実	レファレンスの充実	ICT化の推進	多様なサー	ビスの充実	市民や他施設との連携	広報活動・情報発信の推進	職員の資質向上	
県内最強の資料費を効果的に生か す	職員の知識の向上	全館wi-fi化及びデータベースPC の整備	本と子どもをつなぐおはなし会プラス交流の場でおすすめ本、楽し み方の紹介	大活字本、点字本、デイジーなど を図書館利用に障害のある方への 資料の充実と周知		広報活動の充実	全館で何をやってどうしたら利用 者が増えたの情報共有	
松本市の今がきちんとわかる資料 の設置	職員のスキルアップ	データベースの充実	利用者のおすすめ本を紹介できる コーナー作り	同じ趣向の仲間・グループづくり をしやすい環境を提供	大学・大学図書館や公民館図書室 との連携の強化	図書館の存在を発信(広報誌)	コンシェルジェみたいな総合受付 窓口の設置、常時対応	
リクエストサービスを気軽にでき るように(ジャンルでの希望)	各館の特色に特化した司書の育成 (特定の知識を保有)	貴重資料のデジタルアーカイブ化	子どもだけでもあそびの一環とし て来館できる	気軽に借りれられる (登録の要件 の拡大)	書店との連携	各種メディアを活用した効果的な 広報活動	司書のキャリアアップ	
地域資料の充実	司書のレベルアップ、知識を増やす	電子書籍の導入と活用	青少年、若者へのサービスの充実	駅や市役所への返却ポスト設置	地域、学校との連携	新刊資料情報を市民にわかりやす く発信	多様な利用者、障害をお持ちの方 への対応、定期的に職員研修をし てサービスの向上	
10代(中高生)の学習に使える 資料	スタッフのレファレンス力強化 (研修充実、各司書の専門家化)	デジタル資料 (データベース含む) の充実	医療情報、ビジネス情報、法情報 (病院、保健所、ハローワーク、 法テラス等との連携)	点字本やデイジーを一般書架に	中高生のボランティア	図書館利用促進の周知	居場所を提供することの意義を職 員みんなで認識をする	
外国語資料の充実	レファレンス充実のため、市内の 専門職との連携、収集資料のすみ 分け	分館でも国会等のデジタルサービ スなど出来たらよい	分館 支所、出張所、公民館で出 している情報誌の活用	障害支援機器の貸出、設備の充実	地域のボランティアとの連携強化	図書館だよりの充実	利用者の方の年齢にあった対応を 心がける	
専門的な本の充実	レファレンスで「出来ません」 「ありません」を言わない→関連 しそうな資料の紹介、所蔵機関の 紹介、できる限りのことを		貴重資料の展示、公開	高齢者の方でも来れる図書館	地域の交流の場へ出張図書館	図書館だよりを小中学校などに配布	分館の充実 (職員の人数を増やす)、サービスの充実	
新しい資料の早期提供	専門知識を高める	オンラインデータベースの分館へ の導入	多文化への対応	CDがきける	小学校へのアプローチ	図書館に来ない人に向けての効果 的な情報発信	司書の充実、人材育成	
中央での本の選書、分館で購入で きない本の選書	検索、知的活動、レファレンス対 応向上(ヒントを出せるか、司 書・職員数の増)	タブレット端末の整備(新聞閲覧 専用・データベース閲覧専用端 末)	市民の情報探究力、調査力が向上する講座	小さい子ども連れの方へ便利な利 用方法の案内	高校図書館との交流	図書館をより多くの人に知っても らう宣伝	職員の増員(分館は特に) 臨時 職員に負担がかかっている	
地域の人との交流から求められる 資料を集める	専門家につなげる機能	ICタグ化など省力化を積極的にすすめ、他のサービスを充実	様々な場所で借りる返すができる	小さい子ども連れの方へ図書館デ ビューを応援	積極的に地域とのイベントを増やす	図書館ホームページのカレンダー にイベントの予定を	ディフェンスだけじゃなく、オ フェンスで	
視聴覚資料の充実	情報収集方法を学べる図書館		どんなハンデがあっても好きな時 に好きなだけ利用できる	YA向けコーナー設置と広報活動	開館時間の見直し	本の探し方等、利用者向けのマ ニュアルを作成する	雰囲気づくり(身近に感じてもら えるように)	
より様々な分野の資料を紹介する テーマブック	専門的知識のある職員の配置		多文化サービス充実、多言語表記	近隣の分館で共同イベント、講座	分館の開館時間延長	利用者を増やすための工夫	利用者ニーズの把握・満足度調査	
貴重図書 (郷土資料や新聞等) の保管	他の専門家との交流、レファレン スの充実		資料の配置をNDCよりも利用者 にわかりやすいように	高齢者向け、図書館に来れない人 向け(やまびこ文庫の拡大)	土曜日の祝日の分館の開館	青少年向け、POPづくり(情報 交換)	中央と分館とのふれあい	
課題ごとの資料コーナーを作る			ボランティアの協力のもと図書館 に行けば誰かと会える、話せる、 相談できるという場づくり	「図書館利用講座」の積極的開催	仕事おわりに寄れるよう (午後7時くらいまで)		意見を上げやすい環境づくり	
			時代の流れに応じてただ拡大する のではなく、選別をする (サービ スや設備など)	いろいろな世代に向けた読書の普 及につながるイベント、講座	開館日、開館時間を全館同じに (わかりやすい休館日、開館時 間)		全体会議継続、研修会・連絡会の 充実	
			図書館バス(移動)の導入	大人向けの講座など			中央、分館の抱えている問題を共 有する、調整する場を作る	
			パネル展示の充実	団体貸出、もう少し新しい本の貸 出をしてもいいのかも			市民ニーズを知る職員が情報の共有	
							職員協力体制づくり、職員研修	

職員ワークショップ(2019.12.27)

(3) より良いサービス提供のための施設

		利用者エリア			駐車場等外構
照明のLED化(省エネ・エコ)	CD、DVD視聴ができるスペース	静かなエリアとにぎやかなエリアの ゾーニング	カウンターの改修、動線	キッズスペース	駐車場を駐車券式にする
適切な照度の維持	視聴覚機材を備えた会議室	所	レファレンス専用窓口を複数、貸出 カウンターと離す	手洗い場に子どもを座らせるイス	駐車場の拡大(100台規模)
快適な空調	学生のみのスペース	交流や商売が可能で会話ができる多 目的スペースの確保	不審者に強い人、警備員(館内及び 駐車場)の配置	ベビーカーの貸出し	地下駐車場
網戸の設置	静かに本、勉強ができる場所	飲食可のスペース	総合受付、入り口を一つに		国宝旧開智学校と合わせた駐車場の 整備
エリア管理が可能な空調	勉強スペースのしきり	学習スペースの充実	ICタグ化しないなら、防犯を徹底	お子さんが遊んでいる間に、お母さんが一人で本を選べる時間を	ドライブスルー方式のブックポスト
エレベーターの改善	個人スペース(カウンター席とか)	各館に学習スペース	通路の広さ、物、棚の場所	子ども連れでも一般書コーナーの行 き来をしやすいよう通路を	出入りしやすい駐車場
トイレの洋式化と拡張	学習席 個別机を増やす(コンセント付、持込パソコン対応)	書架の配置の工夫(請求記号順では なく、関連する主題で)	バリアフリー施設	授乳室とおむつ替えの場所は別がい	立体駐車場と2階連絡通路
トイレヘセンサーライトの設置	社会人席増設	静(個を大切にしたい人)と動(コミュニケーションを求める人)を使	読書通帳機	子ども用トイレ	道が狭いので広くする
センサー式手洗いの設置	わかりやすいスペース分け	い分けるゾーン分け	サイン板の一新	多少うるさくても「子どもだから」 という空気感が出せる全体の雰囲気	ドライブスルーで本の返却ができる ブックポスト (できれば開館中も)
手洗い場の増設	声が響きにくい設計	快適な空間を作る	外国語案内	1階にフロアカーペット	駐車場までの道(狭くて歩行者、自 転車危険)
書架の増設 開架スペースの拡充	静かにするところ、少し声を出して もいいところの区分け	イスや机などを快適で新しいものに する	電光掲示板、待ち番号の表示(利用 者登録、書庫出しなど)	利用者端末を増やす、回線の増強	旧開智学校と連携できる施設
展示スペースの拡張	読書スペースの充実	きれいで落ち着いた、毎日来たくな るような図書館に(清掃の徹底等)	館内の場所案内の表示(トイレ、水 飲み場、自販機)を増やす	インターネット席の充実	
展示ケースの増設	声が出せる閲覧スペース	エアコン、wi-fiなどの図書館機能の 充実	どこに、どの情報(資料)があるか わかりやすく表示する	Wi-Fi環境の整備	
ユニバーサルデザイン	小さめのセミナー室	過ごしやすいスペースづくり	情報の掲示がしやすいよう磁石で壁 にポスター等を貼れる	PC席の拡大	作業エリア
バリアフリーの充実(ピクトグラム活用もあり)	資料を持ち込めるディスカッション ルームを設ける	居場所としての環境を整える	正面入り口に返却専用カウンター、 コンシェルジェ的な	コンセントの整備	書庫に検索端末
障がい者、高齢者、子ども連れなど を利用しやすくする	グループが使いやすい10人程度の会 議室を複数つくる	Y Aの興味をひくスペース	総合受付的な役割でレファレンスカ ウンターの拡大	学習席等の予約受付システムの導入	保存資料専用の書庫を造る
車いす スロープ	一般書、児童書を階で分けない、同 じ階にする	騒いでも良い飲食できるスペース	貸出、返却カウンターの職員は立っ ていたほうが良い	中央図書館前面のガラスは危ない	児童から書庫へのスロープ設置
据え置き型拡大読書器、自動読みあ げ機の導入、専用席	1階に談話室(飲食可)	商売もできるスペース	案内を英語併記にする	スターバックスのようなカフェの併 設	2階からM1への階段、スロープ設置
高齢者等、体が不自由な人が利用し やすい施設整備	3階ロビーのフリースペースの拡張		団体の本棚が高すぎる→2階建てにする	やすい	書庫の充実(開架の3倍の書庫)
外国人も利用しやすく(この本はこ ちらとかを英語で)	フリースペースがある	身障者用等駐車スペースへのインターホン設置 (補助依頼)	赤ちゃん休憩室を広く快適に	日常的に使えるように(他施設と一緒にする)	作業スペースが点在しすぎている
幅広い利用者が誰でも利用できる設 備を整える	不審者対策	障がい者サービス、手話、車いすの 方など、施設の整備	キッズスペースや幼児、子育て親子 の交流のスペースを作る⇔静かな読 書できる場所の確保	図書館のみではなく、他の施設や商業施設との複合施設とすると、便利で密度の高いものができ、活性化にもつながる	事務スペースの効率化